

## 会議結果のお知らせ

令和5年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会を、次のとおり開催しました。

令和5年11月1日

宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会

### 1 開催日時

令和5年10月25日（水）午後2時～午後3時

### 2 開催場所

宮古市崎山公民館 多目的ホール

### 3 議題

報告第1号 前回会議の経過報告

報告第2号 令和5年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム事業計画及び実施状況  
について

報告第3号 崎山貝塚縄文の森公園災害復旧工事について  
その他

### 4 会議の概要

事務局より説明を行い、審議のうえ了承された。  
詳細は、別紙会議録のとおり。

### 5 問い合わせ先

宮古市教育委員会事務局文化課  
電話番号0193-65-7526

令和5年度 宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会 会議録

- 1 会議の名称 令和5年度 宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会
- 2 開催日時 令和5年10月25日(水) 午後2時～午後3時
- 3 開催場所 宮古市崎山公民館 多目的ホール
- 4 出席委員 昆野賢寿・鷹鷲三和・吉田 亨・藤井 寛・松田和夫・小野寺康仁  
熊谷常正・佐々木信一・佐々木ヒナ子  
欠席委員 土澤 智  
(事務局) 佐々木勝利教育部長・北舘克彦文化課長・長谷川真学芸係長・千葉剛史主任学芸員・菊池駿貴学芸員・澤田尚美学芸専門員・市村翔学芸専門員・大久保智広学芸専門員・田代奈緒美事務補助員

計18名

審 議 経 過

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 教育長あいさつ

皆さんこんにちは。ただいま紹介にありました宮古市教育委員会事務局教育部長の佐々木勝利です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。また、当運営協議会の委員につきまして、快くご承認いただきましたこと、誠にありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度までは各種事業の実施に、いろいろ制限がございました。本年5月、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となったことに伴いまして、現在は次第にコロナ以前の状態に戻りつつあるという状況であります。こちらにおきましては休止しておりましたドングリクッキー作りも今月より再開いたしまして、全ての縄文体験メニューが体験可能となっております。

また、ミュージアム開館から7年を迎えまして、8月には累計入館者数が4万人を突破いたしました。市民の皆さまや、宮古市を訪れる観光客の皆さまに対しまして、宮古の特徴ある歴史文化に触れられる事業を引き続き展開して、学習機会の創出に努めてまいりたいと思っております。

本日は令和5年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム事業計画及び実施状況などについてご審議頂きます。委員の皆さま方にはご忌憚のないご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- (4) 会長の選出について  
会長：熊谷常正委員
- (5) 会長あいさつ

ただいま会長職に選任いただきました熊谷でございます。盛岡大学を退職いたしましてもう2年目3年目になります。この崎山貝塚との関わりは実はもう40年近くになります。その頃から考えますと、このような博物館といいましょうか、立派な施設が公民館とともに出来上がりまして、本当に隔世の感がいたしますとともに、先ほどご挨拶の中にもございましたように、この施設ができてから7年経ちまして、4万人という多くの方々にご来場いただいて、思った以上の活動をしていると思っております。

最初に申し上げましたように、もう現職を引退した立場でございますが、最後の御奉公という形で2年の任期でございますが、務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム条例施行規則第9条第3項の規定というのがございまして、会長が事故ある場合にあらかじめ指名する委員がその職務を代理するという条文がございます。それに基づきまして、代理を務めていただく方を会長の方から指名させていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。

それでは恐れ入りますが、崎山中学校の昆野賢寿委員にお願いしたいと存じますがいかがでしよ

うか。(了承) それでは、よろしく願いいたします。

職務代理者：昆野賢寿委員

(6) 議事

報告第1号 前回会議の経過報告(事務局説明)

《質疑応答》

特になし

報告第2号 令和5年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム事業計画及び実施状況について(事務局説明)

《質疑応答》

(委員) 数的なことをお聞きしたいのですが、9ページの下に教育普及とありまして、学校授業への対応とあって、津軽石小と崎山小が実施となっているようですけれども、この出前授業というのは過去に比べて、希望する学校数というのはどうなのかということと、もう一つは、10ページの真ん中より下に市内施設との連携とあって、3館連携企画というのが実施されたようですけれども、3館とも巡ったというのは、どのくらいの数か、というところを、分かる範囲でいいのでお願いしたいと思います。

(事務局) 出前授業については、例年津軽石小学校と津軽石中学校、崎山小学校という形で、同じような数で推移しているのが現状です。新たに学校がもっと増えていけばいいと思っていますけれども、現時点では津軽石地区と崎山地区の学校への出前というのが通常の流れになっています。

3館連携については、3館巡ると景品のオリジナルステッカーがもらえるという企画ですけれども、ステッカーは31個配っております。31人が3館すべてを巡ったということになります。スタンプラリーなので台紙を配ってそれぞれの館に行き行ってハンコを押すという形ですけれども、台紙は748枚持っています。748枚持っていて、実際に3館巡ったのは31人。スタンプラリー自体はそういうものだと思いますが、ステッカーの数をみると、こちらとしてはもうちょっといろいろな人に巡ってもらいたいと思っていたので、来年度どういう企画になるか分かりませんが、工夫をしながら3館連携の企画を進めていきたいと考えています。

(会長) 1つ確認させてください。今年度クマはどうですか。

(事務局) やはり出てきています。ちょうど3週間前ぐらいに公園で目撃があって、その時には一旦公園を閉鎖しました。そのあと経過を見て閉鎖は解除しましたが、環境整備の作業員に見回りしてもらおうと、やはり箇所箇所でもクマのフンが見つかるということですので、そこは注意喚起しながら、またクマ鈴も受付で渡していますので、付けてもらって公園を見てもらうという形で対応を取っているところです。

(会長) 学校では何か対策を取っていますか。

(委員) 一人では帰らないことと、保護者の送り迎えをお願いしたりしています。

(会長) 秋田県の伊勢堂岱遺跡で3年前に来場者が顔を引っかかれたというのがあって、半年間休園しています。その後クマ対策のための電線を張ったりしています。文化庁から補助もあったということだったので、事故があってからは遅い話ですので、その辺の情報はきちんと入れておくようにしておいてください。

(委員) いろいろと教育活動にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。本当に素晴らしい施設ですし、企画もすごく工夫されていて楽しいものがたくさんあると思っておりました。

昨年度のアンケートについて出されていて、14ページのようにたくさん書かれておりました。結構楽しく活動できたのだなということが分かりますし、中身が素晴らしかったのだなと思います。そこで、例えば意見をいただいて今までやっていたものをちょっと変えたとか、工夫したとか、何か修正を加えたもの、アンケートから活かされたものがあれば教えていただきたいというのが1点。

意見は、ニュースを見ていたら海釣りのものを見たので、9月の海釣り編なのかなと思いました。6人という少ない人数でしたけれども、すごく充実した1日を過ごしたインタビューをされていたので、分からない人もニュースとかを見ると、参加したいという人が増えると思うので、ぜひそういうメディアとかもいっぱい使って、ここの企画の素晴らしいところを発信したりしていくと、たくさん来場者というか参加者が増えるのではないかと思いますので、ぜひどんどん出てい

ただければと思いました。

(事務所) 海釣りの成果については、釣れなかったです。鯛の生餌を使ったのですが、下層で食べられていた跡があって、頭だけ針についた状態で上がってきたものがありました。魚探で約30cmのサイズの魚が映ったそうなので、それかなというところがありました。来年度以降も続けて、まだ参加者が誰も釣っていないので、参加者が釣れるように努めていきたいと思えます。

アンケート結果に関しては、通常午後に体験を行うことが多いのですが、午前のほうが良いという方がいらっしゃる関係で、夏休みの工作講座は午前と午後に日程を分けて、都合がつく方に参加できるようにしました。あと、アンケートに「作るのが難しかった」という声がありまして、時間内にどうしてもおさめなければいけないというのがありますので、そこは担当する職員で何回も試作をして、時間内に終わるようにしています。私たちの手は慣れてきているので、私たちが10分でできるのであれば、15分、1.5倍くらい時間を取るように、その辺を注意しています。あとは新しく行う体験に関しては、来館した方に声をかけて、実際に体験してもらってどこができないのかを事前に試作したりして、実施するようにしています。

(委員) やはり声を拾って対応してもらえるとまた行きたいと思うので、よろしく願いいたします。

(会長) 本当に盛りだくさんのイベントを実施しておりまして、担当する職員の方は大変だろうと思いますが、ぜひ積極的に開催をお願いしたいと思います。また、多くのところでやっておりますこういった普及事業といたしまししょうか、イベントですが、いまご指摘がありましたように、やはり参加者の意向を受けて改良していくということ、すなわち1発で終わるのではなく、それをきちんと蓄積していった、よりよいイベントに変えていく、対応していくということが求められると思います。そういった点からして、今開催しております鉄作りの事業は、本当に職員の方がいろいろ苦労しながら少しずつ、きちんと技術を蓄積してよいものに持っていくというプロセスがよく分かるイベントだろうと思います。こういった形で前からご指摘いただいておりますような、例えばチョウセンアカシジミについて児童たちがきちんとした素晴らしいデータを作っていた、そういったものをここが中心となって引き継いでいくというのもこの館の1つの使命だと思いますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

もう1つ質問させていただきますが、公民館とジョイントのイベントというのは何かありますか。折角一緒のひとつ屋根の下にいるわけですから、何か連携する事業というものはあるのでしょうか。

(事務局) 崎山公民館との連携といえばやはり縄文まつり。公民館と地元の自治会、学校と一緒にやっているものです。それ以外のイベント、講座での連携というのは実施していない状況です。

(会長) 同じ社会教育機関でありますので、ぜひお願いしたいと思います。

報告第3号 崎山貝塚縄文の森公園災害復旧工事について (事務局説明)

#### 《質 疑 応 答》

(会長) 国の史跡に指定されている場所の工事ですので、現状変更という手続きが必要になります。文化庁に申請をしての工事であります。この砂利みたいに白くなっているところは、これは将来的には草が生えるのですか。

(事務局) 草が生えて目立たなくなる予定です。

その他 令和4年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム事業実績 (事務局説明)

#### 《質 疑 応 答》

(会長) 今年はどんぐりクッキーをやるということですが、どんぐり集まりましたか。

(事務局) どんぐり粉については外部発注しているので、確保はできると思います。今年は予定していないのですが、例年縄文まつりでどんぐり団子をお振る舞いして、それは崎山貝塚で採れたものをアク抜きして使っています。クリミなどは昨年度のものを冷凍して確保はしています。

<以上、全会一致で了承>

(7) その他

(委員) 1つ聞き忘れたことがあるのですが、2階に図書室があるのですが、あそこは入った子供たち、または親子は上まで行って見ますか。どうでしょうか。

(事務局) 展示室入ってすぐのところの階段があるので、皆さん2階には行かれているようです。

あとはテラスがあって、公園が見えるようになっているので、そこを見て、図書コーナーのところまで足は運ぶようです。そこでじっくりくつろいでほしいと思っているのですが、滞在時間は短くて、さっと見て戻ってきてしまう家族もありますので、そこは何かしら中身を工夫していきたいと考えています。

(委員) わたしも何回か上まで行って、図書コーナーに行ってきました。結構本はあるし、訪問している子供たちのコメントもあって、この場所でじっくり見るにはどうしたらいいかと感じていました。図書コーナーが何か気軽に滞在できるような、そういうスペースになればと思います。資料館に行くとき受付の横にあって、行ってすぐ目に付くところにあります。そういうふうに配置を考えたときに、ここの施設はどこにスペースがあるかと思ったりしているのですが、例えば作業スペースありますよね。あそこの一角に作るのも興味関心を持たせるのによいかと思っています。あそこに行っても人がいつもいないですよ。そこはちょっと残念だと思っていました。

(事務所) 図書コーナーの活用につきましては、資料は充実してあるのですが、考えていかなければならないと思っています。今年の夏はすごく暑い時期もありまして、高校生以下入場無料なのでそこで勉強してもらって、そういうものにも活用できればいいと思っています。

(事務局説明) ※企画展示室での展示解説

(8) 閉会